

各施設の適正化に向けた取り組み状況について

公共施設配置の適正化に向けて、公共施設配置適正化実行計画の策定を進めていきますが、以下の施設については、先行して取り組みを進めています。

施設名	取り組み状況
高齢者大学校 あかねが丘学園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現本校舎（旧松が丘南小学校）については、建築後40年以上が経過し老朽化が進んでいる、耐震工事が未実施である、市の東端でJRの駅から遠いなどの課題があります。 ・ 以上の課題の解消に向けて、平成26年度から段階的に現本校舎から生涯学習センター等への移転を進めています。 ・ 平成28年度には、全面的に生涯学習センター等への移転を完了し、現本校舎の使用を終了する予定です。
幼稚園・保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートすることに伴い、平成27年度から平成31年度までを事業期間とする「明石市子ども・子育て支援事業計画」を本年3月に策定しました。 ・ 計画に基づき、私立保育園（分園を含む）の新設や増改築、私立認定こども園の新設を順次、実施するほか、市立幼稚園・市立保育所の認定こども園化に取り組むこととしており、まず、二見幼稚園と二見保育所を一体的に活用した認定こども園の平成28年4月開園を目指して取り組みを進めています。
さざなみ園 (母子生活支援施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・ さざなみ園は、母子が一緒に生活しつつ、自立に向けた支援を受けることができる母子生活支援施設ですが、入所世帯数が少ない、老朽化に伴い、改修を要するなどの課題があります。 ・ 市内には、家庭環境等により養育が困難な児童が入所する児童養護施設がなく、市が実施するショートステイ（一時預かり）事業等では、加古川市や淡路市など遠隔地の施設を利用しています。 ・ 以上の課題の解消に向けて、さざなみ園に児童養護施設の機能を付加したうえで、民間の社会福祉法人による運営とする方向で検討を進めています。
卸売市場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流通形態の多様化等に伴い、取扱高の減少が続いている、老朽化に伴い、今後、多額の改修費用を要するなどの課題があります。 ・ 以上の課題の解消に向けて、平成27年度から指定管理者（株）明石卸売市場管理センター）による管理に移行し、運営経費を削減するとともに、新たな販路の開拓等による取扱高の増加に向けて取り組みを進めています。
小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度から、明石市立学校通学区域審議会において、将来にわたって児童生徒の良好な教育環境を確保し、教育効果の維持・向上を図るため、小・中学校の望ましい学校規模（学級数）や通学距離、学校規模の適正化の方策を定める「小・中学校の適正規模等に関する基準」の策定に向けた検討を進めています。